

※陳述書は2部作成して裁判所へご提出ください。

事件番号 令和 年（ル）第 号

# 陳述書

令和 年 月 日

金沢地方裁判所（□ 支部）御中

第三債務者 .....

TEL - -

以下のとおり陳述する。

（該当する□に✓印を付けて以下1～6の欄に必要事項を記入してください。

なお、ご記入にあたっては本書下部の注意事項を参考にしてください。）

1 差押に係る債権の存否 □ある。 □ない（※以下の記載は不要）。	2 差押債権の種類及び額 （金銭債権以外の債権はその内容）		
3 弁済の意思の有無 □ある。□ない。	4 弁済する範囲又は弁済しない理由		
5 差押債権について、差押債権者に優先する権利を有する者がある場合の記入欄			
6 他の差押（税務署や市役所等からの差押も含む）、仮差押え、仮処分			
執行裁判所等	債権者の住所氏名	差押等の送達年月日	差押等の執行された範囲 （金額）
事件番号			

- （注意）① 1の欄で「ある」と陳述したときだけ2以下の欄を記入してください。
- ② 2については、現存債権について記入するもので、差押命令正本記載の債権をそのまま記入するものではありません。
- ③ 5及び6の欄には、すでに取下げ又は取消しのあったものについては、記載する必要はありません。
- ④ この陳述書に記載しきれないときは、適宜の用紙を使用してください。
- ⑤ 支店を特定して差押を受けている金融機関の方は、金融機関名だけでなく支店名まで記載してください。